



2023.9.6 <計3枚>

報道機関 各位

京都橘大学広報課

たちばな教養学校 Ukon

第二期生（2023年度後期受講生）募集中！

ソプラノ歌手、北極冒険家、文筆家、詩人…多彩な講師8名をお迎えし、
「自分をひらくケアー『つながる』ことへのレッスン」を開講します。

京都橘大学(京都市山科区、学長:日比野英子)では、「生きる」ことを深く味わい、人生を豊かにするための学びの場をめざして、公開講座「たちばな教養学校 Ukon(ウコン)」を2023年5月より開講しています。

このたび、第二期(2023年度後期)の講師8名が決定し、現在受講生を募集しています。講師の方には、ソプラノ歌手、北極冒険家、文筆家、詩人…など多彩に活躍されている方々をお招きし、「自分をひらくケアー『つながる』ことへのレッスン」をテーマにお話いただきます。

「たちばな教養学校 Ukon」は、自然や生命のなりたち、社会のあり方、私たちの生き方を問いながら、「ともに学ぶ」を通して、自他の関係を見直し、<ケア>の精神に生かされた寛容な社会をめざします。

Ukonの学頭・河野通和氏(編集者・読書案内人・本学客員教授)は、各授業において、学びのナビゲータを務めます。どなたでもご参加いただける公開講座です。

記

【たちばな教養学校 Ukon 第二期授業概要】

開催日時:2023年11月4日(土)~2024年2月24日(土)の期間における全8回

開催場所:QUESTION(クエスチョン)7階「クリエイティブcommons」

京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2

定員:各回100名(先着順)、対面

受講料:全8回一括お申し込み 15,000円、各回お申し込み 1回 2,500円

お申し込み方法:たちばな教養学校 Ukon 特設サイトよりお申し込みください。

特典:一括お申し込みの方には、下記の特典プレゼントをご用意しています。

- ① 11月3日(金・祝)「ホワイトハンドコーラス NIPPON freude! よろこびの歌」上映会ご招待
- ② たちばな教養学校 Ukon オリジナルグッズ
- ③ 第二期授業のオンデマンド無料視聴

お問い合わせ:たちばな教養学校 Ukon 事務局(京都橘大学 生涯教育・通信教育課)

TEL:075-574-4335 MAIL:ukon@tachibana-u.ac.jp

講師:別紙をご参照ください。

Ukon 特設サイト



●ご取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 TEL.075-574-4112

別紙: たちばな教養学校 Ukon 第二期(2023 年度後期)の授業概要について

1. 全体テーマ: 自分をひらくケアー「つながる」ことへのレッスン

2. 第二期授業概要について(開催日時、テーマ、講師、プロフィール)

	開講日時	テーマ	講師
1	2023 年 11 月 4 日(土) 14:00~15:30	ホワイトハンドコーラス ——音楽でつなぐインクルーシブな未来	コロシ へりか
2	2023 年 11 月 17 日(金) 19:00~20:30	エンゼルケアに学ぶ ——コロナ下で父を弔う	柳瀬 博一
3	2023 年 12 月 1 日(金) 19:00~20:30	脳とこころに効く科学	元村 有希子
4	2023 年 12 月 15 日(金) 19:00~20:30	極地冒険家の帰還 ——いま、子どもたちに	荻田 泰永
5	2024 年 1 月 12 日(金) 19:00~20:30	ルーツをめぐる旅で見えたこと ——在日コリアンの歴史から次世代へ	安田 菜津紀
6	2024 年 1 月 26 日(金) 19:00~20:30	よるべなき人たちとともに ——救護施設での 3 年間	御代田 太一
7	2024 年 2 月 9 日(金) 19:00~20:30	文章に向き合い、耳をすます ——校正者という仕事	牟田 都子
8	2024 年 2 月 24 日(土) 14:00~15:30	いま、なぜ『万葉集』全英訳か?	ピーター・J・マクミラン

(プロフィール)

① コロシ へりか: ソプラノ歌手/ホワイトハンドコーラス NIPPON 芸術監督

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院卒業。国内外で演奏活動を続けながら、ホワイトハンドコーラス NIPPON の芸術監督として、視覚・聴覚など障害のある子どもたちに音楽を教えている。

② 柳瀬 博一(やなせ・ひろいち): 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

1964 年静岡県生まれ。日経 BP 社で雑誌、書籍、web メディアの編集・広告プロデュースを経て 2018 年より現職。『国道 16 号線「日本」を創った道』『親父の納棺』。共著書に『「奇跡の自然」の守りかた』『混ぜる教育』など。

③ 元村 有希子(もとむら・ゆきこ): 毎日新聞社 論説委員

九州大教育学部を卒業後、毎日新聞入社。東京本社科学環境部記者、同部長などを経て 2019 年から論説委員。朝刊にコラム「水説」を連載。専門は科学コミュニケーション。近著に「科学のトリセツ」(毎日新聞出版)。趣味は山歩き、数独。

④ 荻田 泰永(おぎた・やすなが): 北極冒険家

1977 年神奈川県生まれ。北極冒険家。日本人初の南極点無補給単独徒歩到達。第 22 回植村直己冒険賞受賞。著書「考える脚」で第 9 回梅棹忠夫山と探検文学賞。井上奈奈との共著の絵本「PIHOTEK 北極を風と歩く」が第 28 回日本絵本賞大賞受賞。

⑤ 安田 菜津紀（やすだ・なつき）：

認定 NPO 法人 Dialogue for People 副代表、フォトジャーナリスト

東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ヘウレーカ）他。

⑥ 御代田 太一（みよだ・たいち）：文筆家・元救護施設生活支援員

1994 年神奈川県生まれ。大学卒業後、ホームレスや刑務所出所者を受け止める“最後のセーフティネット”である「救護施設」にて生活支援員として従事。著書に『よるべない100人のそばに居る。〈救護施設ひのたに園〉とぼく』。

⑦ 牟田 都子（むた・さとこ）：校正者

1977 年東京都生まれ。校正者。担当書に、若松英輔『悲しみの秘義』、後藤正文『何度でもオールライトと歌え』、山崎ナオコーラ『ブスの自信の持ち方』、村井理子『家族』他多数。著書に、『文にあたる』。

⑧ ピーター・J・マクミラン（Peter・J・MacMillan）：翻訳家・詩人

アイルランド生まれ。相模女子大学客員教授・東京大学非常勤講師・武蔵野大学客員教授。著書に『英語で味わう万葉集』『松尾芭蕉を旅する』など多数。朝日新聞、京都新聞で連載中。また NHK WORLD や KBS 京都ラジオの番組に出演している。

3. 学頭・河野通和（こうの・みちかず） プロフィール

1953 年、岡山市生まれ。東京大学文学部ロシア語ロシア文学科卒業。1978 年、中央公論社（現中央公論新社）入社。おもに雑誌編集にたずさわり、「婦人公論」「中央公論」編集長を歴任。新潮社にて季刊誌「考える人」編集長を務めた後、株式会社ほぼ日入社。「ほぼ日の学校（のちに學校）」初代学校長を務める。2022 年 4 月より、京都橘大学客員教授。著書に『言葉はこうして生き残った』（ミシマ社）、『「考える人」は本を読む』（角川新書）がある。読書案内人・編集者として活動中。

以上